

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	機械4年	科目コード	47101140
科目名	国語 Japanese				
担当教員	小池 博明				
単位数(時間数)	必修 前期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(A-1)		
授業の目的と概要	実践を通して、コミュニケーション技術の養成に努める。				
先修科目	国語				
後修科目					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典は、必ず持参すること。 ・課題となる小論文は、ワープロソフトで作成する。 				
	授業項目	時間	内容		
1	ガイダンス	2	・授業を受けるにあたり必要な事を述べる。		
2	語彙 同音異義語・同訓異義語	2	・同音異義語・同訓異義語の語彙力を高める。		
3	語彙 四字熟語・ことわざ・慣用句	2	・四字熟語・ことわざ・慣用句の語彙力を高める。		
4	敬語(語彙・敬語に関する筆記試験を含む)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な敬語を理解する。 ・最後に、これまで学習した語彙・敬語に関する筆記試験も行う。 		
5	人前で話す心構えと留意点	2	・多くの人を相手に話す際に、留意すべき点について、理解する。		
6	課題1 1分間スピーチ	6	<ul style="list-style-type: none"> ・興味ある科学技術などについて、適切な情報を収集し、1分間で発表する。 ・他人の話を理解し、意見を述べる。 		
7	文章の基本 書きことば・文章構成の基本	2	<ul style="list-style-type: none"> ・書き言葉と話し言葉の違いを理解する。 ・文章構成の基本を理解する。 		
8	文章の基本 正確でわかりやすい文章を書くには	2	・1文を短くし、正確でわかりやすい表現ができる。		
9	課題2 意見文を書く	6	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習したことがらを踏まえて、図表などを用いながら、自らの意見を正確にわかりやすく相手に伝える。 		
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	<ul style="list-style-type: none"> ・相手(聞き手・読み手)に伝えたいことを、適切に表現することができる。 ・話し手に不快感を与えずに、その話を聞くことができる。 				
成績評価	語彙、敬語に関する試験(25%)・課題1(25%)・課題2(50%) 100点満点により評価し、6割以上を獲得した者を合格とする。				
教材	『大学生のための日本語表現実践ノート』(風間書房)・プリント・国語辞典				
オフィスアワー	月曜日16時～17時。 教員室：管理・一般科棟3階 上記に関わらず、適宜質問などに応じる。				